

イランへの爆撃は収まるのか

令和8年3月17日

森田晃司

2月28日、イスラエルはイランへの爆撃を開始、米軍もこれに追随しました。目的も出口も不鮮明な戦闘と言われていますが、今後の展開を考えてみます。

1. イスラエルの爆撃目的

- ①。自国の安全保障、イランの核開発阻止。→イラン側は開発を否定。
- ②。大イスラエル構想：シオニストユダヤの聖書主義。ナイルからユーフラティス川までイスラエルの領土と主張する。
- ③。中東の支配と資源確保。
- ④。ネタニヤフ首相の政治生命維持。→汚職の追求逃れ。

2. 米国の参戦理由

- ①。イスラエルロビー及びユダヤ資本の圧力→米国はイスラエルの属国か？→連邦議会議員のほとんどがイスラエルの影響下にあると言われる。→ガザ地区の虐殺も黙認してきている。
- ②。7千万人の国内福音派の圧力→トランプ支持母体。
- ③。石油を中心とした資源確保。→各種メジャーは最高収益
- ④。エプスタイン文書から注目をそらす。
- ⑤。トランプ暗殺の危機。→モサド、CIA,MI6など各国諜報機関の暗躍→各国要人をピンポイントで殺害する能力

3. 出口戦略

- ①。イランは負けない戦略
ハメネイ以下の幹部を殺害したが、体制転換は不可能といわれる。
イランは歴史ある大国で岩山の広大な領土を保有。
4万発のミサイルを保有し、安価なドローン製造能力もあり、長期戦に耐える。
- ②。イランは賠償を要求→米軍はメンツがある→負けを認めれば、最強の軍隊の威信が揺らぐ。
- ③。停戦への仲介国は？
中露は消極的→米国の一極支配から多極化へ？
欧州はイスラエルの影響下。
高市外交はイランを敵に回している。
- ④。トランプは撤退の決断を下せるか？

米国民の半数は戦争拡大に反対している→イスラエルに引き回される現状に不満が高まっている。→しかし、イスラエルからの強烈な圧力を跳ね返せるか。

⑤ . 戦争の長期化とイスラエルの衰亡→米国一極支配の終焉？

以上